

医療事務科

介護ヘルパー

対象	2年次	開講期	通年	区分	選	種別	実習	時間数	90	単位	3
担当教員	加藤秀樹			実務 経験	無	職種					

授業概要

介護ヘルパー2級の取得を目指す。

到達目標

介護の職務を理解すると共に、介護・福祉施設で働くために必要となる知識・実技を習得する。介護の仕事をするために必要となる「介護認定初任者研修」の資格の取得を目標とする。

授業方法

事前に介護に関する知識を学び、実際に介護を提供しているスタッフに同行して現場見学することで、学んだ知識や技術を再確認し、現場ならではの注意点や観察ポイントを学ぶ。

成績評価方法

授業への取り組み、課題等を含めて総合的に評価する。

履修上の注意

授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。また、授業時数の4分の3以上出席しない者は単位として認定することはできない。授業の進捗状況により、内容が前後する場合がある。

教科書教材

レジュメ・資料を配布する。

回数	授業計画
第1回	事前説明・オリエンテーション(介護職務について理解できる)
第2回	介護における尊厳の保持・自立支援(介護における尊厳の保持・自立支援について理解できる)
第3回	介護の基本(介護の基本について理解できる)

第4回	介護・福祉、医療との連携(介護・福祉サービスの理解と医療との連携について理解できる)
第5回	コミュニケーション技術(介護におけるコミュニケーション技術について理解できる)
第6回	老化の理解(老化の理解について理解できる)
第7回	認知症の理解(認知症について理解できる)
第8回	障がいの理解(障がいについて理解できる)
第9回	演習（1）(こころとからだのしくみと生活支援技術Ⅰ 基本知識の学習について理解できる)
第10回	演習（2）(こころとからだのしくみと生活支援技術Ⅰ 基本知識の学習について理解できる)
第11回	演習（3）(こころとからだのしくみと生活支援技術Ⅱ 生活支援技術の学習について理解できる)
第12回	演習（4）(こころとからだのしくみと生活支援技術Ⅱ 生活支援技術の学習について理解できる)
第13回	演習（5）(こころとからだのしくみと生活支援技術Ⅲ 生活支援技術演習について理解できる)
第14回	演習（6）(こころとからだのしくみと生活支援技術Ⅲ 生活支援技術演習について理解できる)
第15回	振り返り(これまでの授業の振り返りについて理解できる)